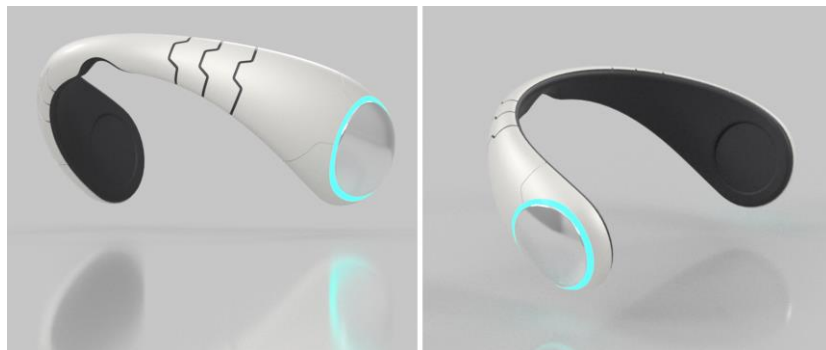
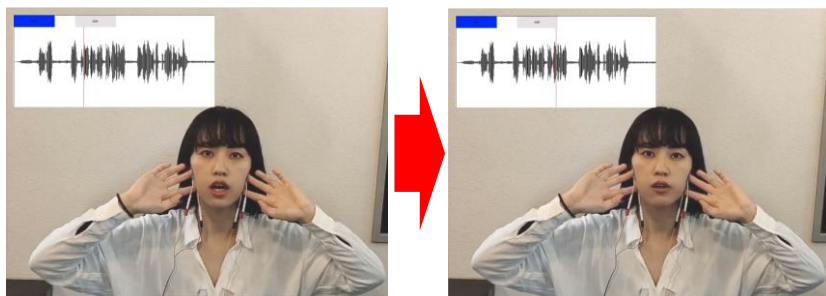


口腔周辺の筋肉を制御するウェアラブル装置



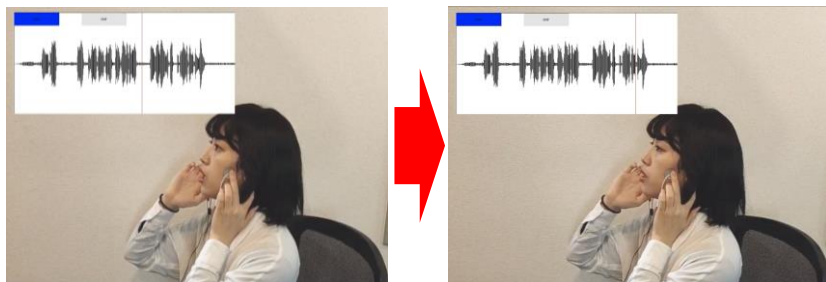
口の動きの制御

口腔周辺の筋肉を制御することで口を動かしている様子



口を開けた状態

口を閉じた状態



提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

構想/研究段階

- 音声、映像とは異なる新たなコミュニケーション文化の創造
- ダイバーシティ(多様性)社会に対する技術/サービス貢献
- ヒトとヒト、ヒトとAIの間での知識と経験の共有、共助を目指し、ヒトの顔の表情の3次元的な映像投影に加え、口の動きの制御によるコミュニケーション技術を提案

概要

- 口腔周辺の筋肉に電気刺激を与えることで、他者やAIの音声や映像と連動し、口の動きを制御します
- 他人やAIの保有する知識と経験を、音声や映像だけでなく、身体の動きを通じて直接体感するコミュニケーション技術の一つとして、顔と口の未来のコミュニケーション: Face Sharing (フェイスシェアリング) が提示されています
- 他者/AIが持つ専門スキル(語学、専門知識等)や運動スキル(身体の動かし方等)の習得、補助/共助活用、複数人数での体験共有など、様々なシーンでの応用が期待されます

コラボレーションパートナー

H2L株式会社

